~~注 意~~

28．10．251800c
南スーダン派遣施設隊

南スーダン派遣施設隊　日々報告
第１７４５号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1　本文（要約）
(1)　情　勢
(2)　本日の活動成果
(3)　明日の活動予定

2　別紙類（細部活動状況）
(1) 本日の成果
　　活動概要
(2) 明日の活動
　ア　活動に及ぼす影響
　　(ｱ)　情　勢
　　(ｲ)　基盤上（兵站・衛生・人事）
　　(ｳ)　総括（評価）
　イ　活動命令
　　(ｱ)　施設活動等実施に関する行動命令
　　（方針・指導要領・各部隊の任務）
　　(ｲ)　視察・来隊予定
　　(ｳ)　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

3　じ後の予定

4　情報共有事項

5　参考資料
(1)　気　象
(2)　暫定政府樹立までの主要結節
(3)　予想シナリオ（状況推移）と
　日本隊に及ぼす影響
(4)　部隊配置状況
(5)　タスク現況
(6)　警備の態勢

１　本文（要約）

凡例　赤字：変化事項

１　情　勢

(1)　全　域

ア　和平合意関連

和平合意は、キール大統領が９月３０日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示したことや、国際社会から地域保護部隊の早期受け入れや武器禁輸に関する圧力が加わったため、今後進展があるものと思料されるが、近隣国からの地域保護部隊の受入をしない旨の発言を再度実施しており、引き続き議論は長期化する可能性もあり注視が必要

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第１副大統領派がキール政権に対する抵抗を示すとともにジュバ帰還への意思を示したことから、ＳＰＬＡ－ｉＯ指導部の分裂、ＳＰＬＡに統合されていたＳＰＬＡ－ｉＯの一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部においてＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯとの緊張状態が継続し、予断を許さない状況が継続

イ　その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対ＵＮ感情の変化には注視が必要

また、北部及び南部において、ディンカ族内での反エクアトリアン感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

(2)　ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イェイ及びカジョケジでのＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯとの緊張状態及びエクアトリアー帯での武装集団による襲撃事案が増加するとともに、ディンカ族とエクアトリアン等との緊張状態も生起しているとともに、郊外へ至る経路上での通行許可証等を要求するＳＯＦＡ違反が継続している。ジュバ南部への移動には、ＵＮＭＩＳＳによるパトロールによるプレゼンスの提示及びジュバ－ニムレ道沿いのウガンダ警察と、南スーダン警察との協力態勢の確立による治安の回復が期待されるものの、その状況に注視

凡例　赤字：変化事項

(3)　ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続きＳＯＦＡ違反の発生状況に注視

[redacted]では、常続的に射撃が確認されており、[redacted]逐次進展が見られるものの、ディンカ族とエクアトリアンの対立、[redacted]等、不安定な状態にあり引き続き些細な変化に注意が必要

また、ＩＤＰとＵＮＰＯＬ等との小競合いにおいて[redacted]ことから、ＩＤＰ内での対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要

加えて、キール大統領の死亡説やマロン参謀総長の解任説が流れる等、市民の不安が煽られるような噂が流れたこともあり、市民感情の変化には注意が必要（流布源は不明であるが、一時的に市内の一部が緊張状態になったことから、今後の政府の動向に注意）

(4)　ウガンダ

２０１６年２月の大統領選及び５月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、７月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5)　活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスメント及びＳＰＬＡによる検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、ＵＮハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒歩で移動するＳＰＬＡ兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

マラム採掘場周辺においては、治安事象は確認されていないものの、ＳＰＬＡによる検問が存在することからハラスメントの発生には注意が必要

３　本日の活動成果

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、ＵＮハウス地区西側外壁構築・ケーブル埋設、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、英軍ＬＯプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動（成果：１１ｔ）

イ　人道支援実施のための環境作り等

(1)　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

(2)　ＵＮハウス西側ケーブル埋設

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区西側外壁沿いにおけるケーブル埋設

(3)　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

(4)　英軍ＬＯプレハブ構築

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区におけるプレハブ構築

(5)　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動

ｂ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

ｃ　警務班による、ジュバ市内交通警察署における情報収集

(ｲ)　業務調整

ａ　隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区、ＵＮハウス地区及びジュバ市内における業務調整

ｂ　広報班をもって、ジュバ市内情報放送省における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　隊長による、ＵＮハウス地区における[redacted]への参加

(ｷ)　隊本部による、ＵＮトンピン地区内における週工兵会議への参加

(ｸ)　隊本部による、ＵＮトンピン地区における井戸業者の送迎

(ｹ)　情報班による、ジュバ空港へのウガンダ出張者の送迎

(ｺ)　隊本部等による、ジュバ空港への国連休暇取得者の送迎

(ｻ)　隊本部による、ジュバ市内における現地調達業務

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

3　明日の活動予定

(1)　方　針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築・ケーブル埋設、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、英軍ＬＯプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)　指導要領

ア　文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、ＵＮトンピン地区内における給水活動

イ　人道支援実施のための環境作り等

(1)　ＵＮハウス地区西側外壁構築

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における西側外壁構築

(2)　ＵＮハウス西側ケーブル埋設

第２施設小隊をもって、ＵＮハウス地区西側外壁沿いにおけるケーブル埋設

(3)　ＵＮハウス地区弾薬庫増設

第３施設小隊をもって、ＵＮハウス地区における弾薬庫増設

(4)　英軍ＬＯプレハブ構築

第１施設小隊をもって、ＵＮトンピン地区におけるプレハブ構築

(5)　ＵＮトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、ＵＮトンピン地区における退避壕構築

(6)　マラム運搬

施設器材小隊等をもって、ジュバ市内におけるマラム運搬

ウ　その他の活動

(ｱ)　情報活動

ａ　情報班をもって、ＵＮトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動

ｂ　隊本部をもって、ジュバ市内及び[redacted]における経路偵察

ｃ　隊本部をもって、ジュバ市内における高官来訪に伴う事前経路偵察

(ｲ)　業務調整

隊本部等をもって、ＵＮトンピン地区、ＵＮハウス地区及びジュバ市内における業務調整

(ｳ)　宿営地内活動

本部付隊をもって、宿営地管理業務

(ｴ)　教育訓練等

な　し

(ｵ)　民生協力

な　し

(ｶ)　副隊長による、ＵＮトンピン地区内における施設活動現場指導

(ｷ)　隊本部による、ＵＮトンピン地区における井戸業者の送迎

(ｸ)　隊本部による、ジュバ市内における現地調達業務

エ　表敬等

な　し

オ　各種行事

な　し

カ　国際機関等連携案件

な　し

1　本日の成果

別紙第１「活動概要」
別紙第２「活動成果」

別紙第１－１

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	２５	高機×１、大型×１ 油圧×１、特大型×２ ロードローラ×１	
②		英軍ＬＯプレハブ構築	１小隊	０８００～１６００	エチオピア歩兵大隊北側	２６	高機×２、大型×２ 道路障害作業車×１	
③	その他	給　水	補給班	０８００～１０００	トランジットネパール歩兵中隊	２	給水車×１	
④	その他	給　水	補給班	１０００～１２００	バングラ河川隊	２	給水車×１	
⑤		業者迎え（井戸）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	メインゲート	２	小型×１	
⑥		週工兵会議 業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	工兵課	５	小型×１	
⑦		業務調整（輸送）	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	３	小型×１	
⑧		ＴＥＴＲＡ業務調整	隊本部（Ｓ－３）通信班	０９３０～１２００	ＣＩＴＳ及びＴＥＴＲＡＯＦＦＩＣＥ	３	中型×１	
⑨		広報活動	隊本部（広報）	０８００～１７００	ＵＮトンピン内	２	小型×１	
⑩		情報収集	情報班		ＵＮトンピン内			

凡例　UNタスク

別紙第１－２

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）



中	広報活動
中	情報収集

別紙第１－３

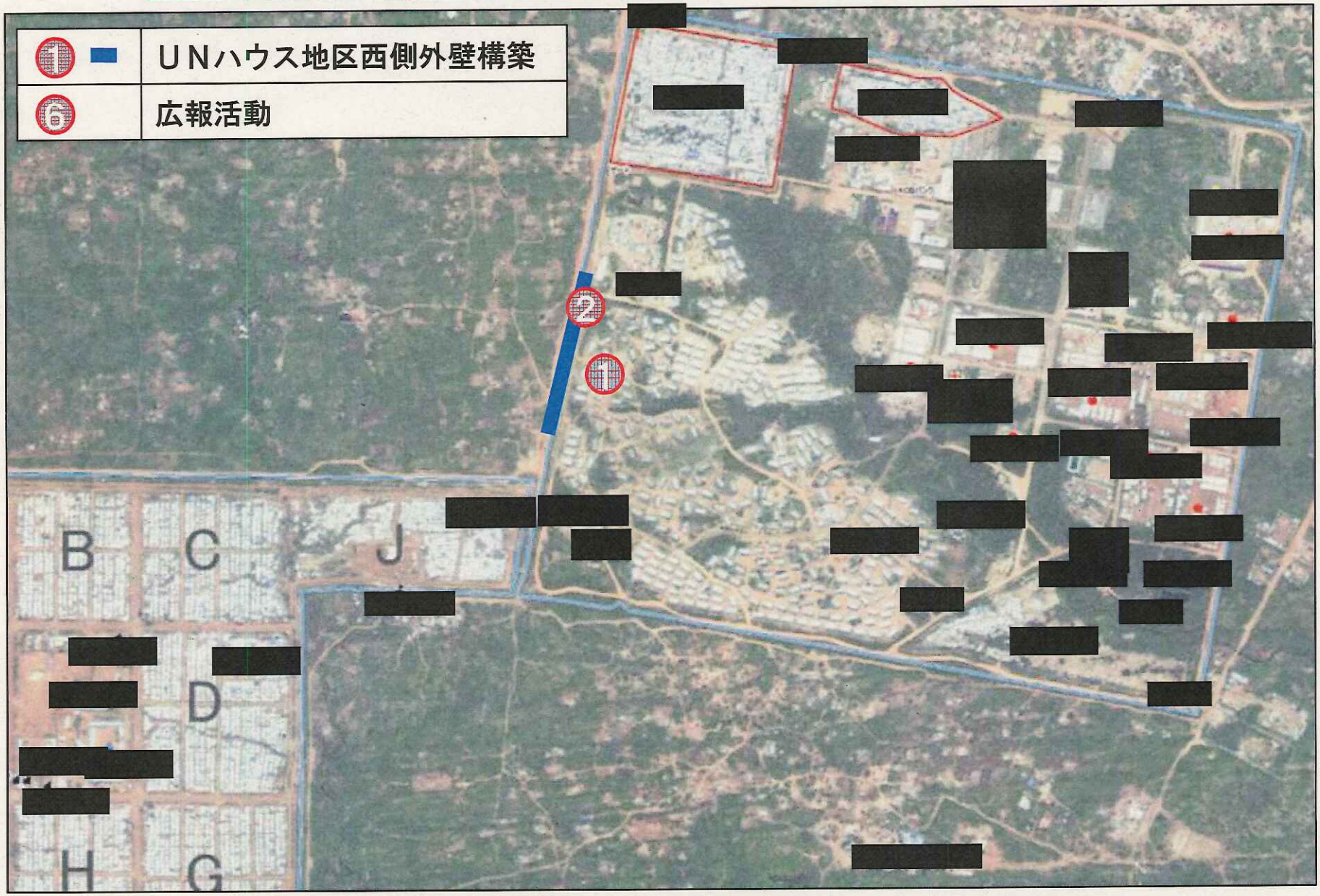
活動概要（ＵＮハウス）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊 整備班	０７４５～ １６３０	ＵＮハウス西側	２０	高機×3、大型×3 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	[redacted]
②		ＵＮハウス地区西側 ケーブル埋設						
③		ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７４６～ １６３０	弾薬庫	２０	高機×2、大型×2 特大型×1 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
④	その他	[redacted]	隊本部 （Ｓ－１） （Ｓ－３） 警備小隊	０７４４～ １１００	ＦＨＱ	[redacted]		
⑤		業務調整（施設）	隊本部 （Ｓ－３） 警務班	０７４４～ １４００	ＵＮハウス	４	高機×1	
⑥		広報活動	隊本部 （広　報）	０７４４～ １４００	ＵＮハウス	３	高機×1	

凡例　UNタスク

別紙第１－４

活動概要（ＵＮハウス）（４／７）



別紙第１－５

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情　報	経路偵察	隊本部（Ｓ－２）		ジュバ市内			
②		情報収集（ウガンダ出張者送迎）	情報班		ジュバ市内			
③	その他	国連休暇送迎（８Ｇｐ）	隊本部（Ｓ－１）付隊本部３小隊	０９３０～１１３０	ジュバ空港	４０	ランクル×1、大型×2	
④		現地調達（補給）	隊本部（Ｓ－４）	１３３０～１６３０	取水点	3	高機×1	
⑤		現地調達・市場調査（会計）	隊本部（Ｓ－４）	１３００～１６００	ジュバ市内	3	高機×1	
⑥		重車両輸送支援	警務班	０７２０～１１００	ビルファムロード	2	高機×1	
⑦		現地調達（補給班）	補給班	０９００～１２００	ＪＩＴ及びLA BAGETTO	3	高機×1	
⑧		業務調整（広報）	隊本部（広報）	１３３０～１６００	情報放送省	4	高機×1	

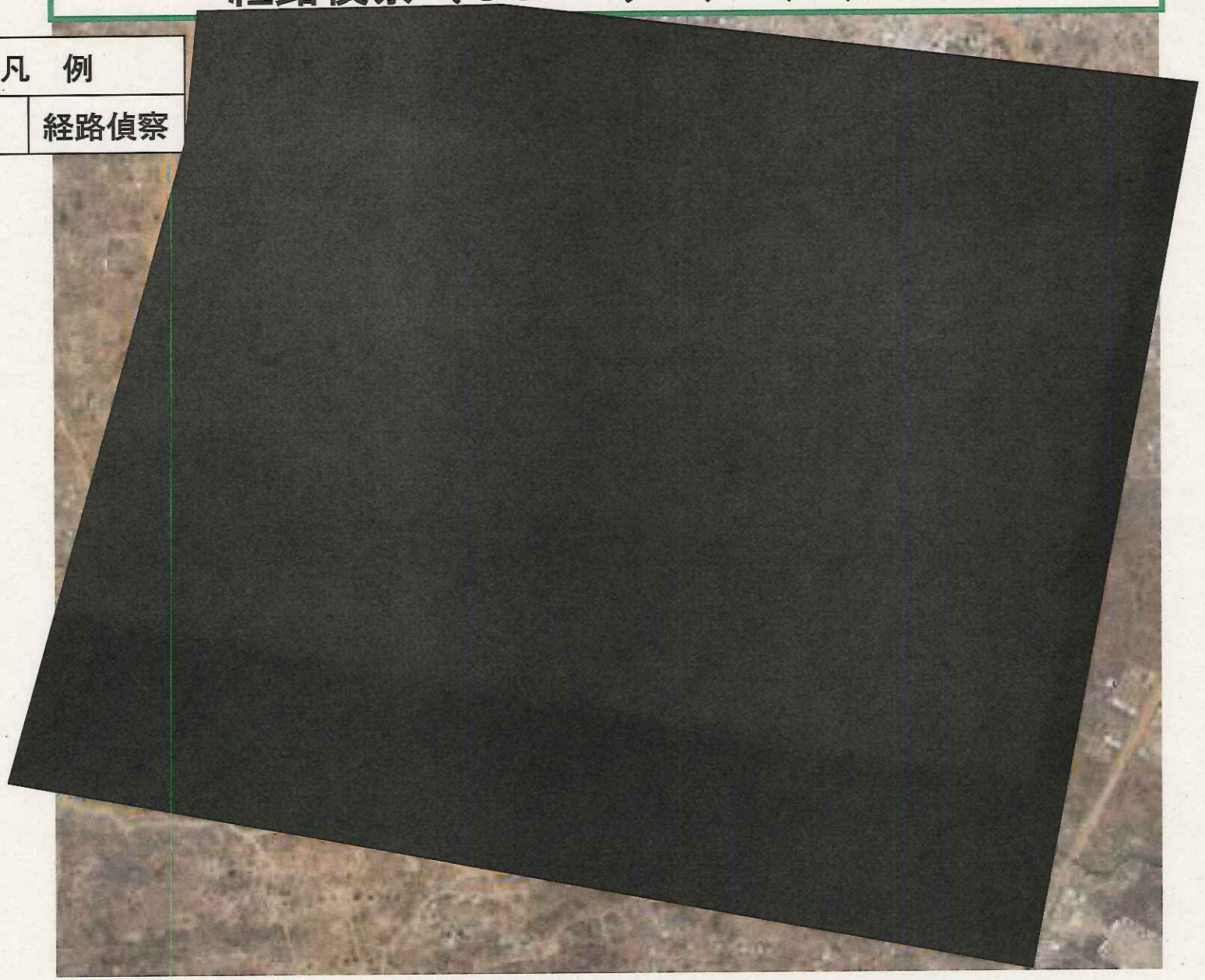
別紙第１－６

活動概要（ジュバ市内）（６／７）



別紙第１－７

経路偵察（ＵＮハウス）（７／７）



凡　例	
――	経路偵察

本日の活動成果

UNトンピン内退避壕構築

活　動　中
施設器材小隊【10.25 1000現在】



活　動　中
施設器材小隊【10.25 1300現在】



活　動　成　果	
[redacted]	退避壕構築位置転圧・資材受領及び運搬

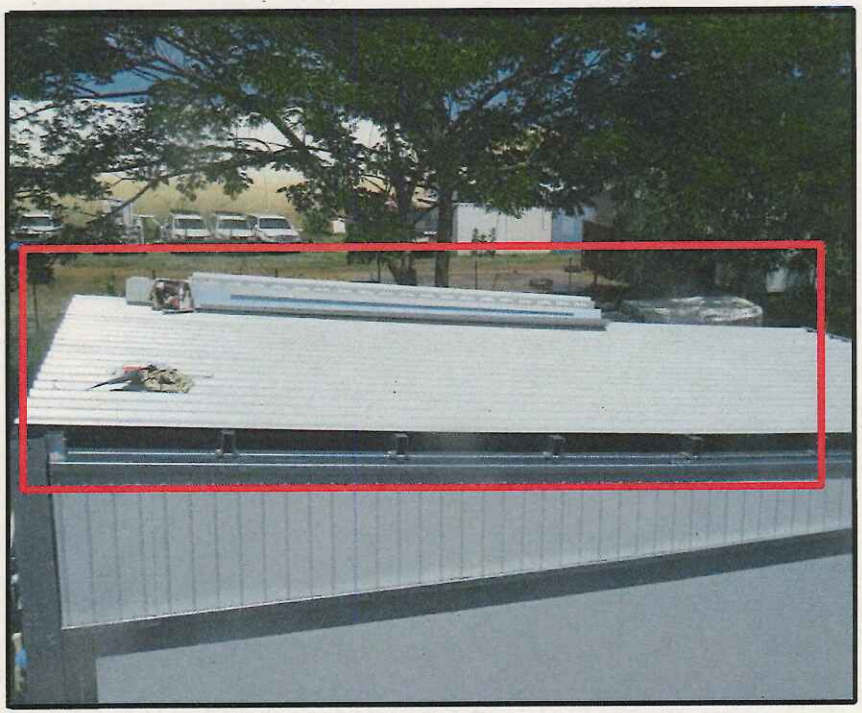
本日の活動成果

英軍ＬＯプレハブ構築（１module）

活　動　前
第１施設小隊【10.25 0900現在】



活　動　中
第１施設小隊【10.25 1400現在】



活　動　成　果	
[redacted]	１　床　張 ２　壁 ３　屋　根

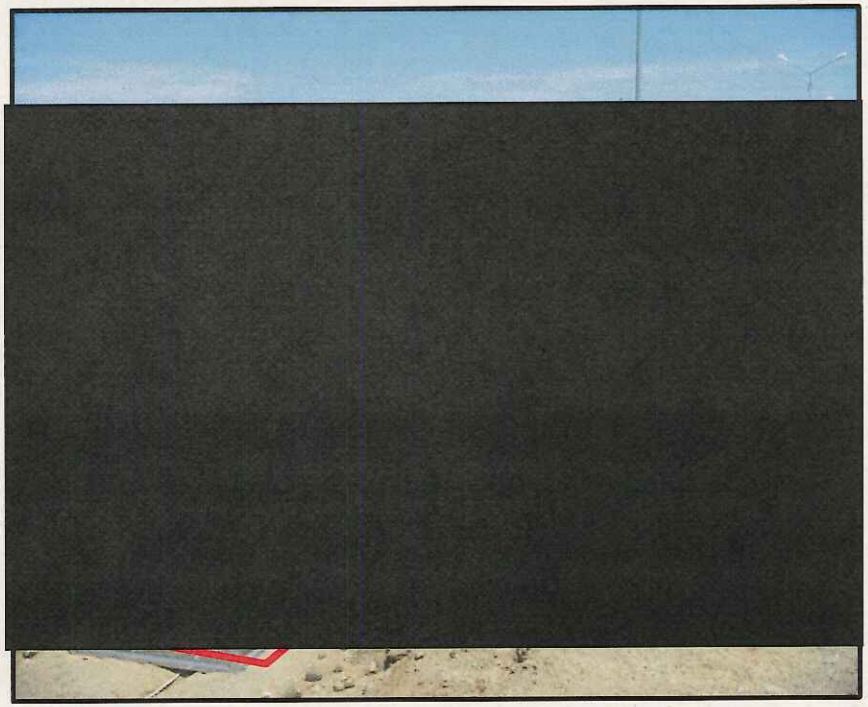
本日の活動成果

ＵＮハウス地区西側外壁構築

活　動　前
第２施設小隊【10.25 0900現在】



活　動　後
第２施設小隊【10.25 1200現在】



活　動　成　果	
[redacted]	・整地作業 ・ミフラム組立設置及び土入れ ・測量経始

本日の活動成果

ＵＮハウス西側ケーブル埋設

活　動　前
第２施設小隊【10.25 0900現在】



活　動　後
第２施設小隊【10.25 1200現在】

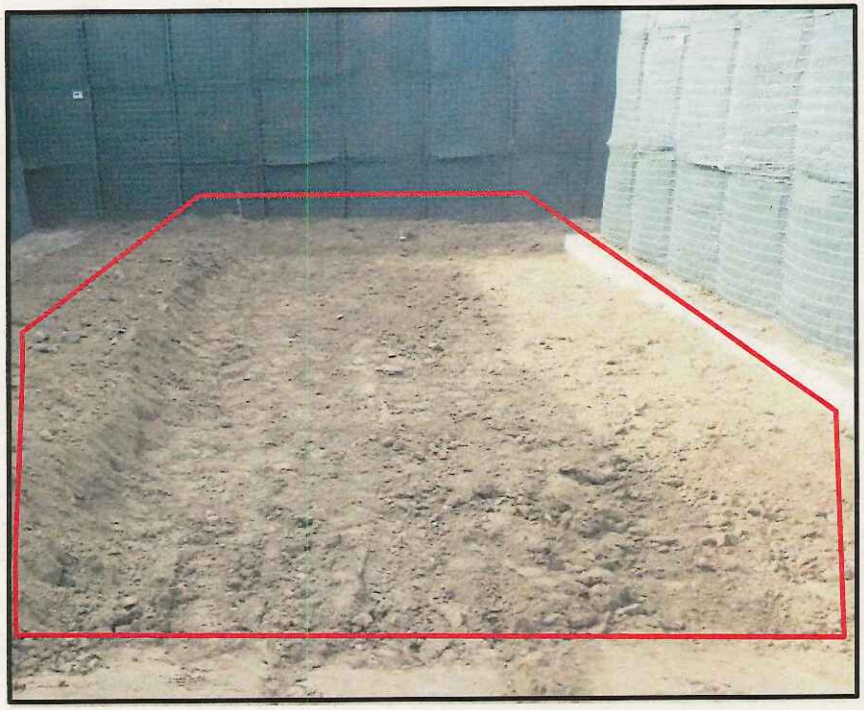


活　動　成　果	
[redacted]	・埋め戻し作業

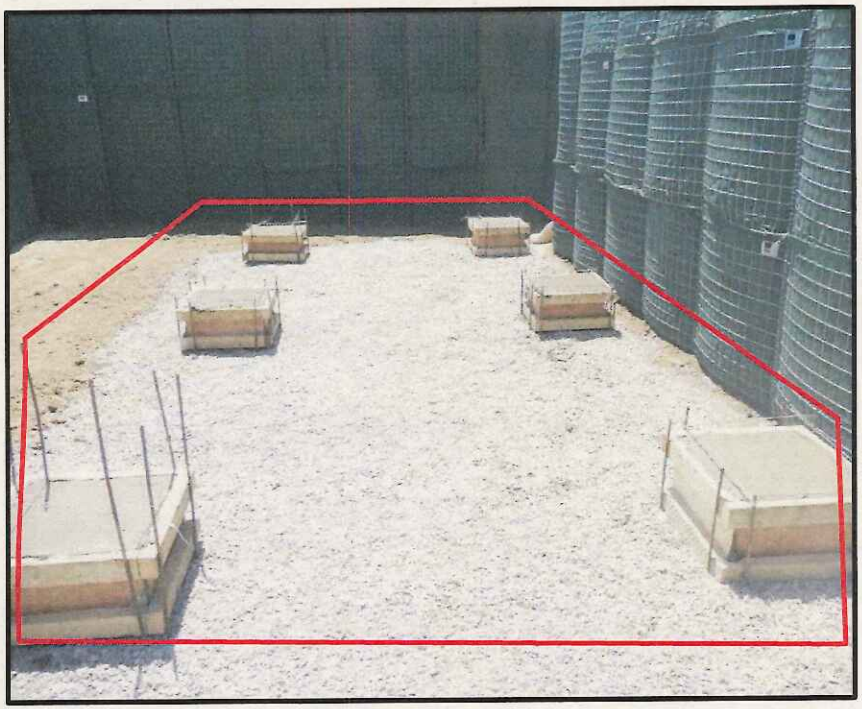
本日の活動成果

ＵＮハウス地区弾薬庫増設

活　動　前
第３施設小隊【10.25 0900現在】



活　動　後
第３施設小隊【10.25 1400現在】



活　動　成　果	
[redacted]	・コンテナ設置のための平床出、基礎の打設

2　明日の活動

(1)　活動に及ぼす影響
別紙第３「情　勢」
別紙第４「装備品等現況」
別紙第５「患者受診状況」
別紙第６「人員現況」
別紙第７「総括（評価）」

(2)　活動命令
別紙第８「施設活動等実施に関する行動命令」
別紙第９「視察・来隊予定」
別紙第10「隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定」

情　勢（１／８）／Situation

別紙第３－１

凡例　青字：新規
赤字：評価

１　南スーダン全域の情勢

(1)　和平合意履行に関する情報

■　駐南スーダン米国大使は、「米国による外交及び財政支援は、南スーダン政府及びＳＰＬＭ－ｉＯによる停戦の完全履行に基づいて行われる。また、同支援は南スーダン政府が地域保護部隊の展開を受け入れた場合及び、暫定政府が反政府勢力や無党派層及び批判的な立場のものを包括するための信頼できる取組を行ったか否かに基づいて行われる。加えて、軍、公共財政管理、憲法修正及び和解プロセスといった主要改革に対する支援は、衝突が停止した場合にのみ実施される。」と発言
（２４日　EyeRadio　“US Gov’ t seriously questions financial support to S. Sudan”）

→　現状では支援を受けることは困難であると考えられ、財政支援を目的として南スーダン政府の譲歩があるものと思料

(2)　和平合意不履行に関する情報

■　アテニー報道官は「地域保護部隊に参加できる国は、南スーダン政府のみが決定できる。」と発言し、南スーダン政府として、近隣諸国の地域保護部隊参加に改めて反対を表明した模様
（２４日　RadioTamazuj　“South Sudan again reject neighboring countries participation in RPF”）

→　米国及び国際社会からの反応に注視

[redacted]

情　勢（2／8）／Situation

別紙第３－２

凡例　青字：新規
赤字：評価

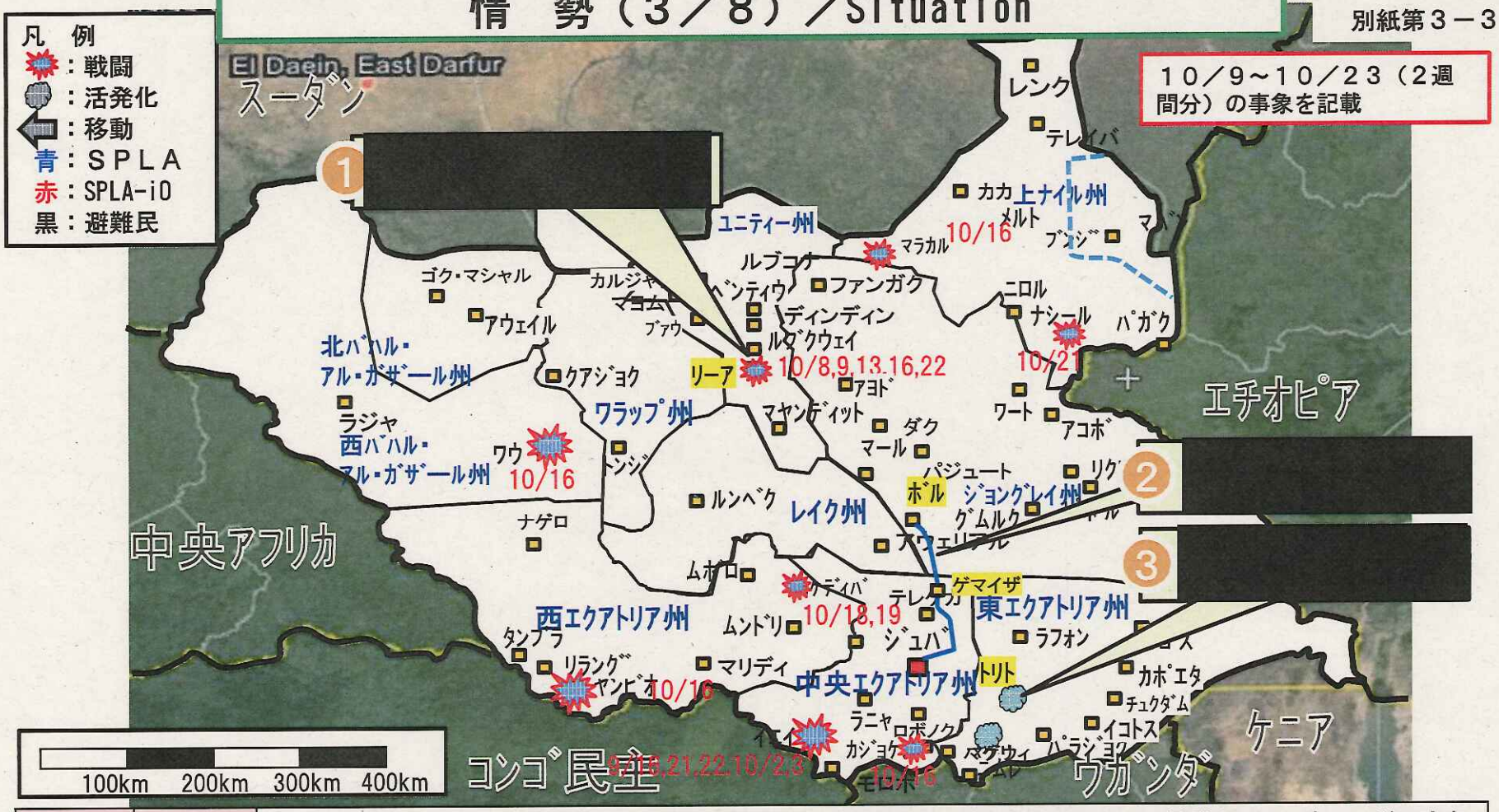
(3)　その他入手した主要な情報資料

[redacted]

[redacted]

別紙第３－３

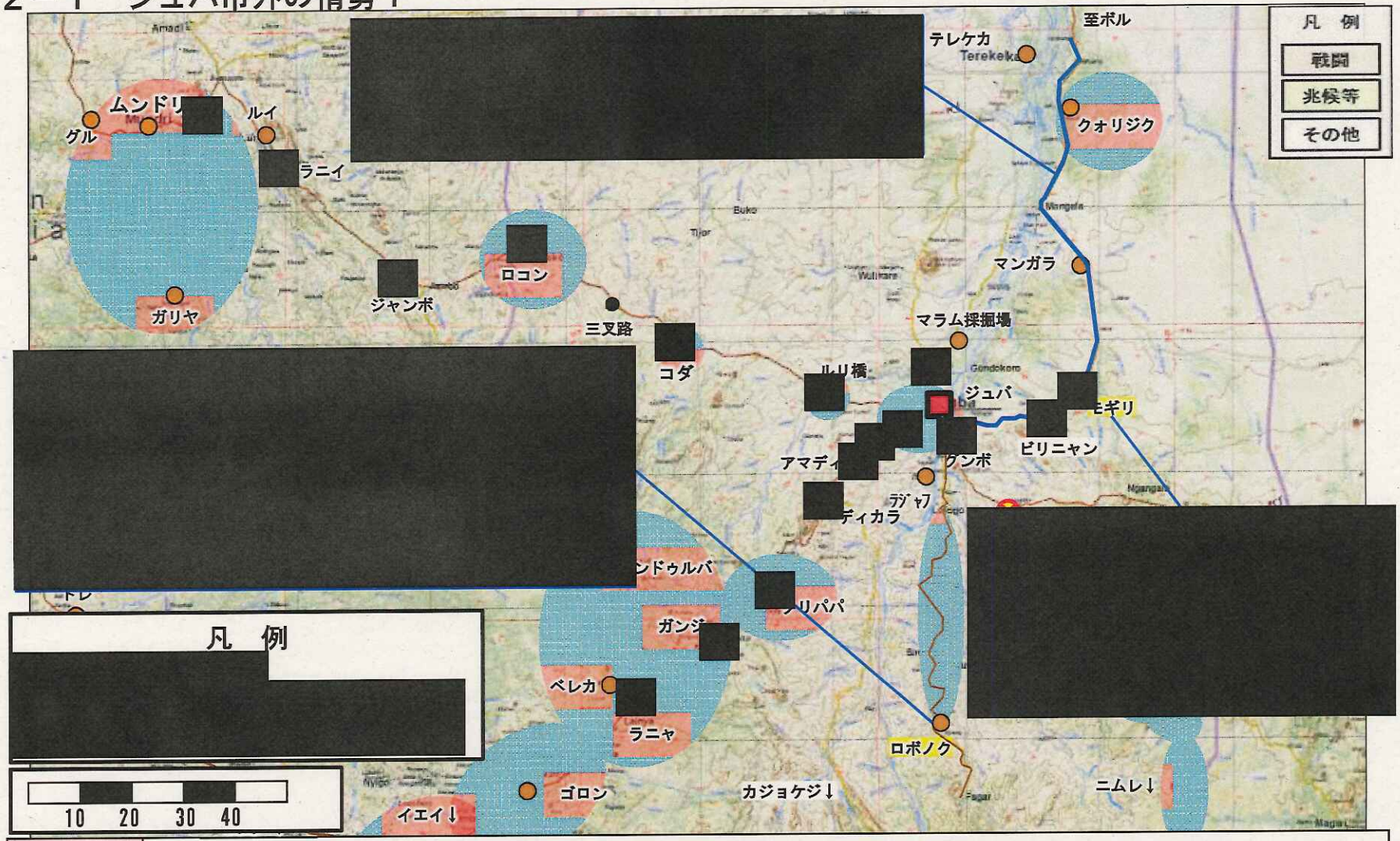
情　勢（３／８）／Situation



評　価	和平合意	和平合意については、ＪＭＥＣによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、ＪＶＭＭも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示している事から、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部及び南部において、ＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯとの小規模な戦闘が継続しており、マシャル前第１副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による１０月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化には注視が必要

情　勢（４／８）／Situation

２－１　ジュバ市外の情勢１



評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、道路沿いでＳＰＬＡに対するＳＰＬＡ－ｉＯによる伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情　勢（５／８）／Situation

２－２　ジュバ市外の情勢２

■　南スーダン警察とウガンダ警察は長官同士での会談において、ジュバ～ニムレ間の道路沿いの治安を改善するための協力態勢を確立することで合意した模様。同会談では、ジュバ～イェイ～オラバ間の道路沿いの治安回復についても協議された模様
（２４日　EyeRadio　“SSNPS & Uganda police to secure juba-nimule road”）
→　ジュバ～ニムレ間の治安の回復状況に注視



評　価	郊外における状況は未だ不透明であり、道路沿いでＳＰＬＡに対するＳＰＬＡ－ｉＯによる伏撃、エクアトリアン等に対する報復とみられる襲撃が発生している模様。乾季への移行に伴う、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要

情　勢（６／８）／Situation

３　ジュバ市内の状況

[redacted]



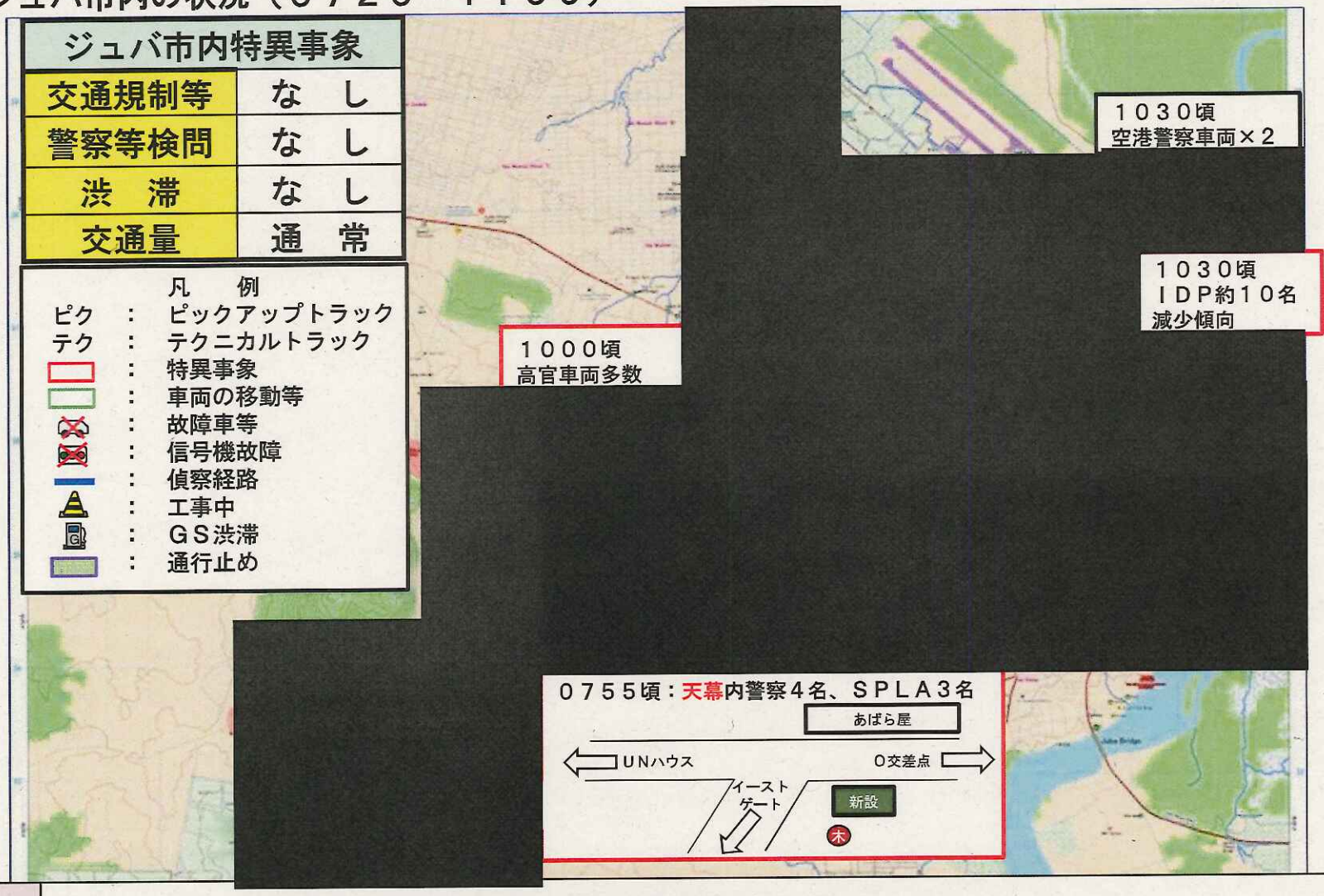
評　価	ジュバ市内は、一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イェイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[redacted]では、常続的な射撃や、[redacted]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスメント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化にも注視が必要

情　勢（７／８）／Situation

５　ジュバ市内の状況（０７２０～１１００）

ジュバ市内特異事象	
交通規制等	な　し
警察等検問	な　し
渋　滞	な　し
交通量	通　常

凡　例
ピク　：　ピックアップトラック
テク　：　テクニカルトラック
：　特異事象
：　車両の移動等
：　故障車等
：　信号機故障
：　偵察経路
：　工事中
：　ＧＳ渋滞
：　通行止め



評　価	市内における全体的な警備強化等の状況は見られなかった。 交通量はやや多いものの、市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要

情　勢（８／８）／Situation

４　気　象（０６００ｉ）

地　域	天　気	気　温		湿　度		降水量	備　考
		最　低	最　高	最　低	最　高		
ジュバ	快晴	２４℃	４２℃	２０％	６２％	０ｍｍ	
カンパラ	晴れ一時雨	１５℃	３１℃	５３％	９５％	５ｍｍ	

主要装備品等現況／Equipment Status

別紙第４－１

１０月２５日１３００ｃ

区　分	可　動　率	状　況	処　置
火　器	１００％ [redacted]	な　し	
車　両	１００％ [redacted]	な　し	
施　設	１００％ [redacted]	な　し	
通　信	１００％ [redacted]	な　し	
需　品	１００％ [redacted]	な　し	
衛　生	１００％ [redacted]	な　し	
その他		１５０ＫＶＡ発電機×２ （逆浸透浄水装置用） オルタネータ不良	部品請求実施 [redacted] 整備完了まで予備の２２０ＫＶＡ発電機×１を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－２

１０月２５日１３００ｃ

区分		品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	ＢＬ	９mm普通弾	[redacted]			
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	ＴＲ	９mm普通弾				
		５．５６mm普通弾				
		５．５６mmリンク				
	計					
打ち殻		９mm打がら薬きょう				
		５．５６mm打がら薬きょう				
計						

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

別紙第４－３

糧食維持日数：７２日　　喫食者数：３５１名　（総数３５３名、ウガンダ出張２名）　　１０月２５日１８００ｃ

区　分	品　名		取　得	消　費	現保有量	維持日数	備考（処置）
糧食等	個人糧食	戦闘糧食Ⅱ型	[redacted]				
		市販型					
		アルファ米					
		ＵＮ非常用糧食					
	耐久品	米					
		副食パック					
	ＵＮ食材	生　鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生　鮮					
		冷　凍					
	その他	加熱剤					
燃　料	ＣＯＥ	ＵＮ軽油(発電機)					
	ＮＯＥ	軽油（調達品）					
		灯油（調達品）					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置（浄水）						

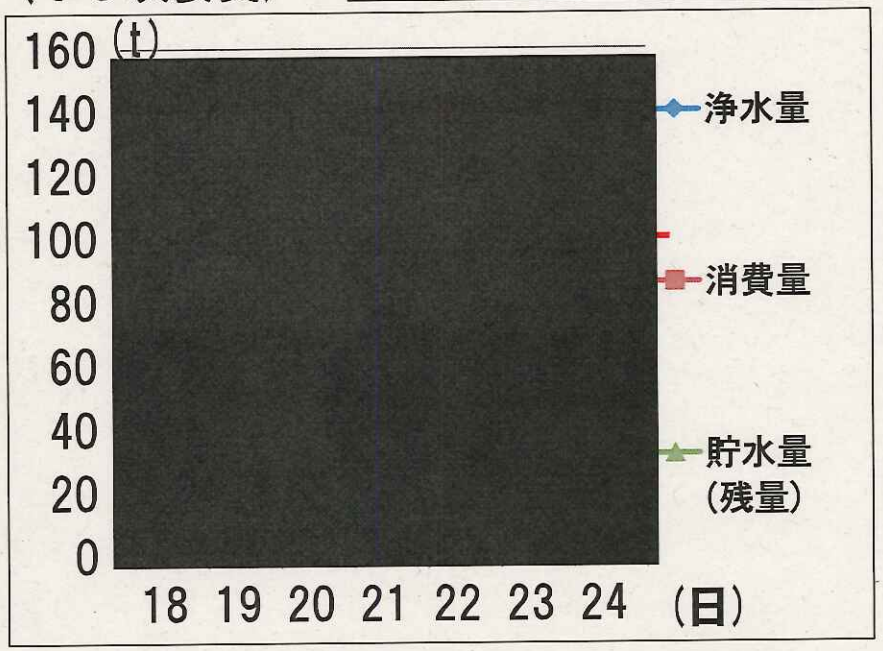
第１０種補給品（水）の推移（１週間実績）

別紙第４－４

１０月２５日１３００ｃ

【H28.10】（１０次要員）

曜	日	浄水量	消費量	貯水量（残量）
火	１８	[redacted]		
水	１９			
木	２０			
金	２１			
土	２２			
日	２３			
月	２４			



他国供給先（前日実績）	供給量
ＵＮハウス	4
トランジット	3
ネパールＦＰＵ	3
ネパール歩兵中隊	
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	
インド隊	
合　計	１０

【評　価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。
　再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応（工事期間10月20日から10月下旬）

※　貯水の危険水位：[redacted]

（注）日々の消費量が[redacted]を超える日が[redacted]日連続で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

別紙第５

患者受診状況

受診患者計　　７名

１０月　２３日１８００ｃ
～１０月　２４日１８００ｃ

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
隊本部	２名	[redacted]	
施設器材小隊	４名		
警備小隊	１名		

凡例：　（再）　→　再　診

別紙第６

人員現況／Personnel Status

１０月２４日１８００c

／	場　所	総員（名）	事故（名）	現在員（名）	事故の内訳（名）	備　考
第10次要員	ジュバ（UNトンピン）	３５３	2	３５１	ウガンダ出張 [redacted] 2名 （１０／２５～３０）	

宿営地待機人員

区　分	人員数
待機人員	[redacted]

凡例　青字：不在者

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	宿営地	流れ弾	9/27, 28, 10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17, 20 近傍での射撃（特に夜間）	[redacted]
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4昼, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし	
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置	
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		ＩＤＰの流入又は侵入	[redacted]	
		流れ弾	[redacted] 10/4 WFZ（Weapon Free Zone：非武装地域）の予行の実施	
	＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	[redacted]	
	＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ	
		ＩＤＰとの小競合い（マシャル派、タバン派）	[redacted] 9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入	
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置	

活動の分析及び評価

別紙第７－２

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted] 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第１副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催	[redacted]
		反ＵＮデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ｹﾞｰﾄでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン霊廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家ﾊﾟﾈﾙ報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対	
		流れ弾	[redacted] 9/22 夜間のﾑﾀｷ地区で10発以上の射撃 [redacted]	

活動の分析及び評価

[redacted]

項　目			兆候上	発生する公算
情　勢	ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	8/13 SPLA車両に対する伏撃 10/13 SPLAの検問所は　　存在	[redacted]
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	10/13, 17 エクアトリアンを標的とした犯罪 10/18 ディンカ族への襲撃に対する報復を抑制する大統領指示 10/24 ジュバ－ニムレ道沿いのウガンダとの協力態勢の確立	
	ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ	10/13 SPLAの検問所は　　存在 10/14 コダでのSPLAとSPLA-iOの衝突	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	－	
	ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ	10/17 SPLAの検問所は　　存在	
		ハラスメント		
		犯罪への巻き込まれ	10/13 近傍に集落は存在しない 10/13 牛飼いが存在（２～３組）	

活動の分析及び評価

別紙第７－４

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿営地活動	流れ弾	[redacted]	
ＵＮトンピン活動	反ＵＮデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
ＵＮハウス活動	反ＵＮデモ		
	ＩＤＰの流入		
	流れ弾		
＃１ＰＯＣサイト	ＩＤＰとの小競合いへの巻き込まれ		
＃３ＰＯＣサイト	ＩＤＰデモ		
	ＩＤＰとの小競り合い ＩＤＰ内の小競合いへの巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ	[redacted]	
	反ＵＮデモ		
	流れ弾		

活動の分析及び評価

[redacted]

活　動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ～マンガラ 周辺地域 ・ゲマイザ ・トリト ・ニムレ ・ロボノク	戦闘への巻き込まれ	[redacted]	
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ～コダ 周辺地域 ・ロコン	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		
ジュバ ～マラム採掘場 周辺地域 ・テレケカ	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	犯罪への巻き込まれ		

総　括

総　括	ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるもののディンカ族や移動中のＳＰＬＡを狙った襲撃が発生しており注視が必要、また、[redacted]での常続的かつ単発的な射撃の発生及び銃を携行したＳＰＬＡ兵士が確認されるとともに、ＩＤＰが火器を保有している可能性は否定できず、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。 また、[redacted]、ＩＤＰとのＵＮＰＯＬとの間で小競合いが発生しており、ＩＤＰの対ＵＮＭＩＳＳ感情の変化及び[redacted]には注視が必要 加えて、１０月１４日にコダにおいてＳＰＬＡとマシャル派ＳＰＬＡ－ｉＯの衝突が生起していた模様であり、ＵＮＭＩＳＳ車両が衝突後、問題なく通行しているものの、道路沿いのＳＰＬＡ車両に対する伏撃等への巻き込まれには注意が必要 さらに、ジュバ市内においては大統領の健在が示されたことで、市民の不安感は払拭されたものと思料され、パニック等に至る可能性は低いと見積もられるが、引き続き状況の変化に注視が必要 また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始めたものの、市民団体は地域保護部隊の派遣に反対を示しており、対ＵＮ感情の変化には注視が必要 ＵＮトンピン内においては、ＩＤＰの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要であるとともに、ジュバ西部及び南部の戦闘にも、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、注視が必要

総　括

評　価 （総括）	・　宿営地内及びＵＮトンピン内活動は、ＩＤＰ移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要 ・　ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスメントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスメントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、市内状況を確認し、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要 ・　ＵＮハウスにおける活動は、ＵＮハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びＩＤＰによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、ＵＮハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 　また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びＵＮハウス地区近傍における発砲状況によっては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要	
処置・対策	ＩＤＰとの小競合い	[redacted]
	疾病罹患	
	流れ弾対処	
	ＩＤＰデモ対処	
	ＳＰＬＡ等による ハラスメント	
	戦闘への巻き込まれ	

明日の活動命令
(Operations)

１　施設活動等実施に関する活動命令

（方針・指導要領）　(Policy & Guidance)

２　視察・来隊予定　　(Schedules of visitors)

３　隊長・副隊長・ＣＳＭの行動予定

(CO/DCO/CSM Schedules)

別紙第８－１

１０月２６日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

１　情勢報告参照

２(1)　隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてＵＮトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、マラム運搬、ＵＮハウス地区西側外壁構築・ケーブル埋設、弾薬庫増設及びＵＮトンピン地区退避壕構築、英軍ＬＯプレハブ構築を実施する。

　この際、ジュバ市内におけるハラスメント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、ＵＮハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)ア　活動警備レベル（基準）

(ｱ)　ＵＮハウス地区

ａ　ハウス西側外柵沿い　　レベル[redacted]

ｂ　ハウス南側弾薬庫地域　レベル[redacted]

(ｲ)　ＵＮトンピン地区　　レベル[redacted]

(ｳ)　ジュバ市内

ａ　ジュバ空港　レベル[redacted]

ｂ　ルリ橋北側マラム採り場　レベル[redacted]

ｃ　ｚｏｎｅ１　（ジュバナバリ）　　レベル[redacted]

ｄ　ｚｏｎｅ３　（ハイブルグ）　　レベル[redacted]

ｅ　ｚｏｎｅ４　（ハイガハット）　　レベル[redacted]

ｆ　ｚｏｎｅ５　（ハイシネマ）　　レベル[redacted]

ｇ　ｚｏｎｅ６　（ハイカトールウエスト）レベル[redacted]

ｈ　ｚｏｎｅ９　（ハイムヌキ）　　レベル[redacted]

イ　宿営地警備　[redacted]

３(1)　ＥｑＰｔ（施設器材小隊）
マラム運搬及びＵＮトンピン地区退避壕構築、状況により臨時工兵課タスクの実施
(2)　１ＥＰｔ（第１施設小隊）
ＵＮトンピン地区英軍ＬＯプレハブ構築
(3)　２ＥＰｔ（第２施設小隊）
ＵＮハウス地区西側外壁構築及びケーブル埋設
(4)　３ＥＰｔ（第３施設小隊）
ＵＮハウス地区弾薬庫増設
(5)　ＳｅｃＰｔ（警備小隊）
宿営地警備、同行警備及び[redacted]
(6)　ＨＱＵ（本部付隊）
宿営地維持・管理活動、ＵＮトンピン地区内給水活動、同行整備、同行衛生及び[redacted]
[redacted]
(7)　ＭＩＳｅｃ（情報班）
ジュバ市内、ＵＮトンピン地区及び[redacted]における情報収集
(8)　ＧｕａｒｄＳｅｃ（警護班）
副隊長警護及び経路確認
(9)　ＭＰＳｅｃ（警務班）
重車両輸送支援及び[redacted]

別紙第８－３

活動概要（ＵＮトンピン地区）（１／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮトンピン地区退避壕構築	器材小隊	０８００～１６００	ＵＮトンピン内	１７	高機×１、大型×２ 油圧×１ ロードローラ×１	
②		英軍ＬＯプレハブ構築	１小隊	０８００～１６００	エチオピア歩兵大隊北側	１８	高機×２、大型×２ 道路障害作業車×１	
③	その他	給　水	補給班	０８００～１０００	トランジット エチオピア歩兵大隊	２	給水車×１	
④	その他	給　水	補給班	１０００～１２００	ネパールＦＰＵ	２	給水車×１	
⑤		業者迎え（井戸）	隊本部（Ｓ－４）	０８３０～１６００	メインゲート	２	小型×１	
⑥		業務調整（施設）	隊本部（Ｓ－３）	０８００～１６００	工兵課	３	小型×１	
⑦		業務調整（輸送）	隊本部（Ｓ－４）	０９００～１６３０	ＭＯＶＣＯＮ	３	小型×１	
⑧		副隊長現場指導	隊本部（Ｓ－３）	１４３０～１５３０	ＵＮトンピン内	３	ランクル×１	
⑨		広報活動	隊本部（広報）	０７４０～１６００	ＵＮトンピン内	２	小型×１	
⑩		情報収集	情報班		ＵＮトンピン内			

凡例　UNタスク

活動概要（ＵＮトンピン地区）（２／７）

別紙第８－４



	副隊長現場指導
	広報活動
	情報収集

別紙第８－５

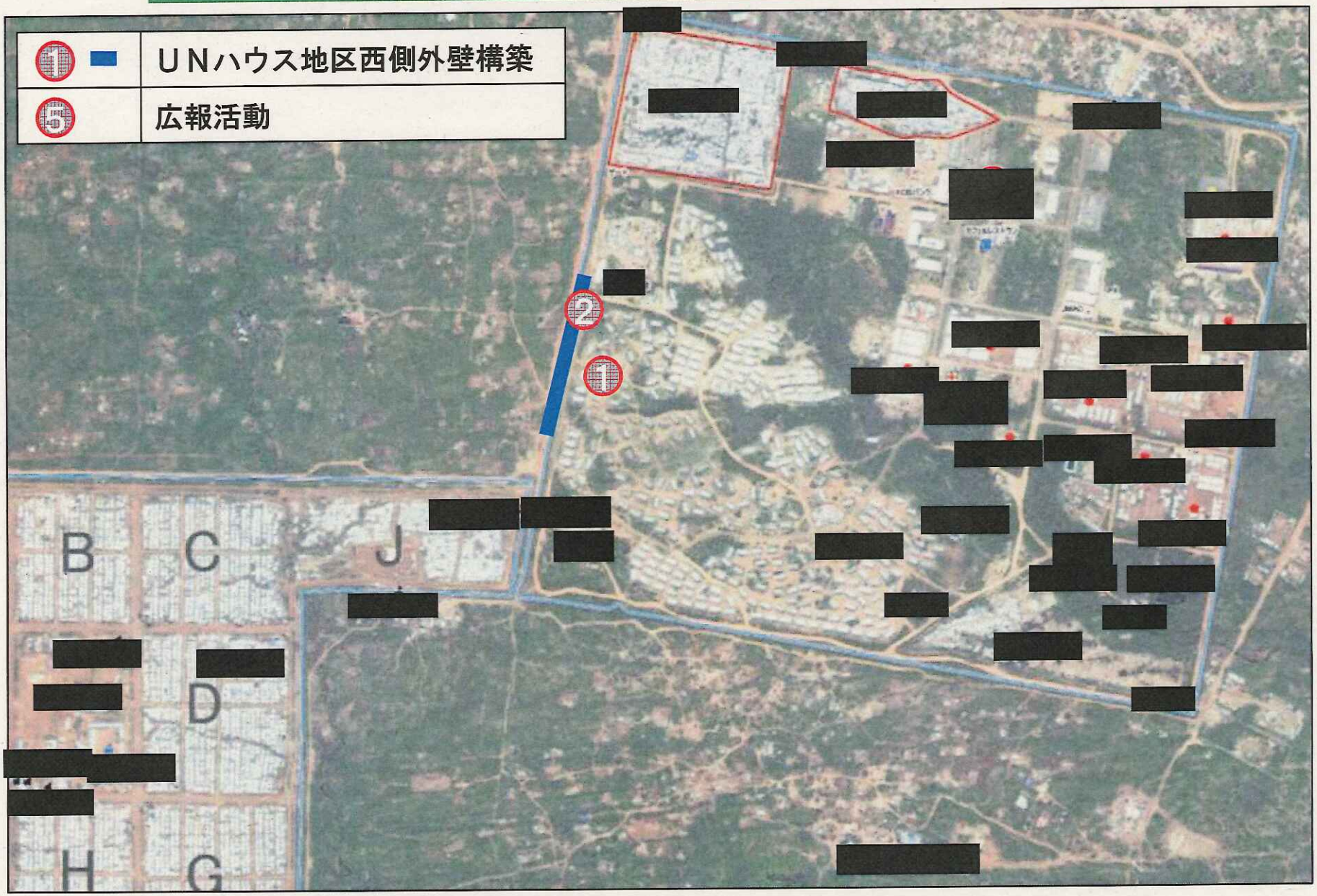
活動概要（ＵＮハウス地区）（３／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	ＵＮハウス地区西側外壁構築	２小隊	０７３０～１６３０	ＵＮハウス西側	２４	高機×3、大型×3 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②		ＵＮハウス地区西側 ケーブル埋設						
③		ＵＮハウス地区弾薬庫増設	３小隊	０７３１～１６３０	弾薬庫	２１	高機×2、大型×2 特大型×1 ※　水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
④	その他	業務調整（施設） ＣＯＥ点検　事前偵察	隊本部 （Ｓ－３） （Ｓ－４）	０７３２～１４００	ＵＮハウス	３	高機×1	
⑤		広報活動	隊本部 （広　報）	０７３２～１４００	ＵＮハウス	３	高機×1	

凡例　ＵＮタスク

別紙第８－６

活動概要（ＵＮハウス地区）（４／７）



別紙第８－７

活動概要（ジュバ市内）（５／７）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施　設	マラム運搬	器材小隊 隊本部 （Ｓ－３） 衛生班 整備班 情報班 広報班	０９００～ １６００	ルリ橋北側 マラム採取場	１８	特大型×3、高機×3	
②	情　報	経路偵察	隊本部 （Ｓ－２）	０７２０～ １２００	ジュバ市内 ＵＮハウス	2	高機×1	
③		情報収集	情報班		ジュバ市内			
④	その他	現地調達・市場調査（会計）	隊本部 （Ｓ－４）	１３００～ １６００	ジュバ市内	4	高機×1	
⑤		重車両輸送支援	警務班	０７２０～ １１００	ビルファムロード	2	高機×1	
⑥		業務調整（広報）	隊本部 （広報）	１３３０～ １６００	ユニバーサル	3	高機×1	
⑦		業務調整（渉外）	隊本部 （Ｓ－１）	０９００～ １６００	ユニバーサル ＤＨＬ	2	高機×1	
⑧		経路確認	隊本部 （Ｓ－３）	１２３０～ １６００	ジュバ市内	4	ランクル×1	

凡例　　ＵＮタスク

別紙第８－８

活動概要（ジュバ市内）　（６／７）

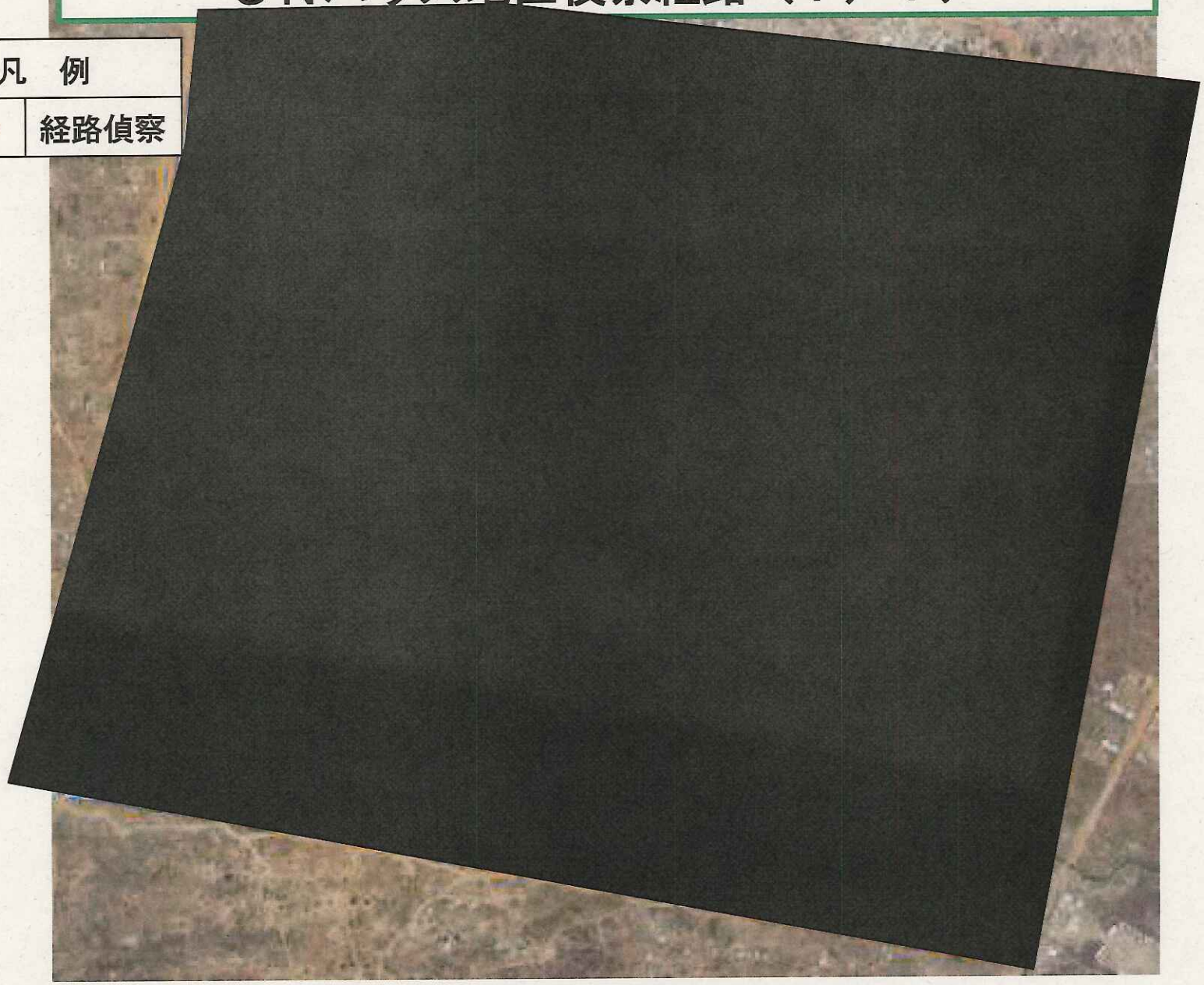
①	マラム運搬
②	経路偵察
③	情報収集
④	現地調達（会計）
⑤	重車両輸送支援
⑥	業務調整（広報）
⑦	業務調整（渉外）
⑧	経路確認
	予備経路



別紙第８－９

ＵＮハウス地区偵察経路（７／７）

凡　例	
――	経路偵察



別紙第９

視察・来隊予定
(Schedules of visitors)

時　間	視察・来隊者	備　考
	視察・来隊者等予定なし	

隊長、副隊長の行動予定

別紙第１０－１

	AM	PM	課業外
隊　長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第１０－２

	AM	PM	課業外
最先任上級曹長	[redacted]		

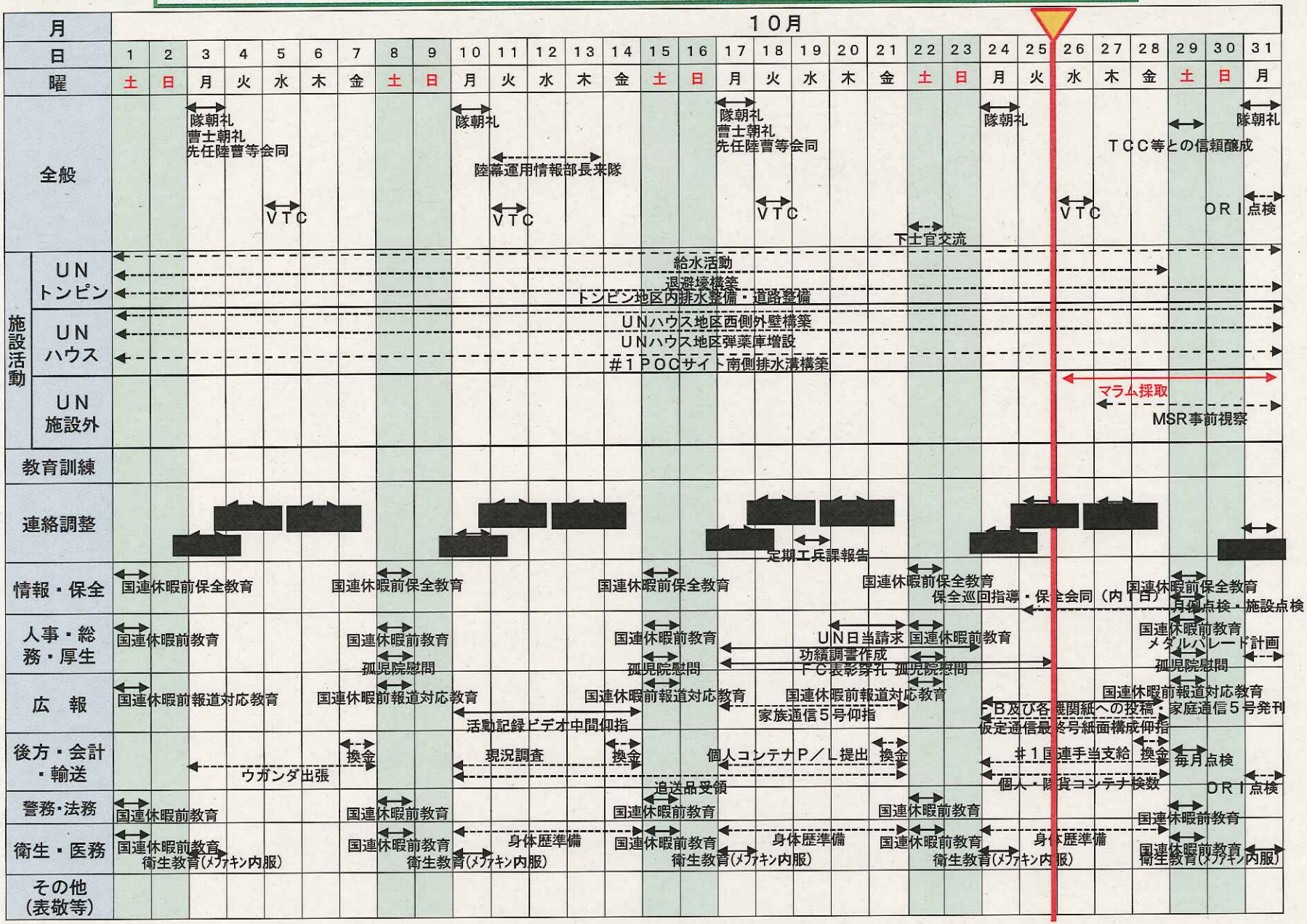
３　じ後の予定

別紙第１１「全般活動予定」

赤字：変化事項

１０月　月間業務予定

別紙第１１－１



青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１０／２３～１０／２９）第４６週

別紙第１１－２

日	１０／２３	１０／２４	１０／２５	１０／２６	１０／２７	１０／２８	１０／２９
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（１０／３０～１１／５）第４７週

別紙第１１－３

日	１０／３０	１０／３１	１１／１	１１／２	１１／３	１１／４	１１／５
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全　般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備　考							

4　情報共有事項

別紙第１２「連携案件等情報」

連携案件等情報

別紙第１２

1　形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現　状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA－PKO連携案件	職業訓練「＃４さくらＰＪ」	ＭＴＣ	実施困難	ＭＴＣ ＪＩＣＡ	・10/1　ＪＩＣＡ南スーダン事務所長交代 （ウガンダ事務所長兼任） ・１０月中に東京ＪＩＣＡ南スーダン事務所のウガンダ移転完了予定も年内の南スーダンへの復帰見込みなし ・現在のＵＮＭＩＳＳの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	ＪＩＣＡ 大日本土木	ＣＲＦにおいて実施の可否を検討中	ＣＲＦ ＪＩＣＡ	ＣＲＦにおいて外務省及びＪＩＣＡによるプロジェクト継続等に関する再検討の結果待ち	
2	国際機関等連携案件	ＵＮＯＰＳ水質調査支援（日本補正予算によるボル河川港建設ＰＪに伴う水質調査の依頼）	ＵＮＯＰＳ （大使館）	工兵課からタスク発出済み	ＵＮＯＰＳ （※） （大使館）	当初予定されていたボル河川港建設準備のための事前水質調査については別機関により実施済み。ただし、建設中・後で引き続き水質調査が必要になることが見込まれるため、支援依頼については引き続き継続	
3		ＵＮハビタット（日本政府予算によるワウ・ジュバにおける居住環境整備事業）	ＵＮ ハビタット （大使館）	大使館から連携の可能性検討再開の打診あり	ＵＮ ハビタット （大使館）	・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得るための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄは、７月衝突事案以降中断していた施設隊との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・ＵＮﾊﾋﾞﾀｯﾄ側から、施設隊との連携実現のためのＵＮＭＩＳＳﾊｲﾚﾍﾞﾙ（ＤＳＲＳＧ）への打ち込みを実施予定 ・10/21に、担当者から大使館・隊担当への説明予定	

※　UN Office for Project Services：国連プロジェクト・サービス機関）

凡　例　　◎：　タスク化成立　　○：　自隊による実施　　×：　実行の可能性低　　―：　調整中

2　終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概　要	実施時期
	ODA－PKO連携案件	なし			
	国際機関等連携案件	なし			

5　参考資料

気　象（２５～２６日）ジュバ／Weather JUBA

最高気温（1400まで反映）

気温(直射)	気温(日陰)	湿　度	総雨量
４２℃	３９℃	２０%	０mm







日(曜) Date		２５日（火）		２６日（水）					
時　Hrs		18～21	21～24	0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18
主要な活動							UNの基盤整備		
Juba	天　気								
	気温(℃)	２９	２６	２４	２３	３０	３７	４０	３７
	体感気温(℃)	２９	２７	２６	２５	３２	３９	４１	４１
	降水確率	６０%	８０%	５０%	１０%	０%	０%	０%	０%
	雨　量	０mm	１mm	１mm	０mm	０mm	０mm	０mm	０mm
	風　向	北東	南東	南	南南東	東	東南東	南東	南
	風　速	２	１	２	１	１	２	１	１
評価 Assesment	施設活動								
	行　事								

凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気　象（週間）ジュバ／Weekly Weather JUBA

日(曜)		２７日（木）	２８日（金）	２９日（土）	３０日（日）	３１日（月）
主要な活動		[redacted]ウガンダ出張				ORA点検
		MSR偵察(マンガラ) 市内研修	MSR偵察(コダ) 市内研修	文化の日イベント 孤児院慰問		UNの基盤整備
		国連休暇（９Ｇｐ）				
Juba	天　気					
	気温(℃)	３７／２４	３６／２３	３６／２３	３７／２３	３６／２３
	降水確率	７０％	６０％	４０％	９０％	８０％
	雨　量	２mm	４mm	０mm	０mm	５mm
	評　価					
Kampala	天　気					
	気温(℃)	３２／１７	２９／１６	３０／１８	２８／１５	３２／１６
	降水確率	９０％	９０％	９０％	８０％	９０％
	雨　量	５mm	６mm	７mm	３mm	２mm

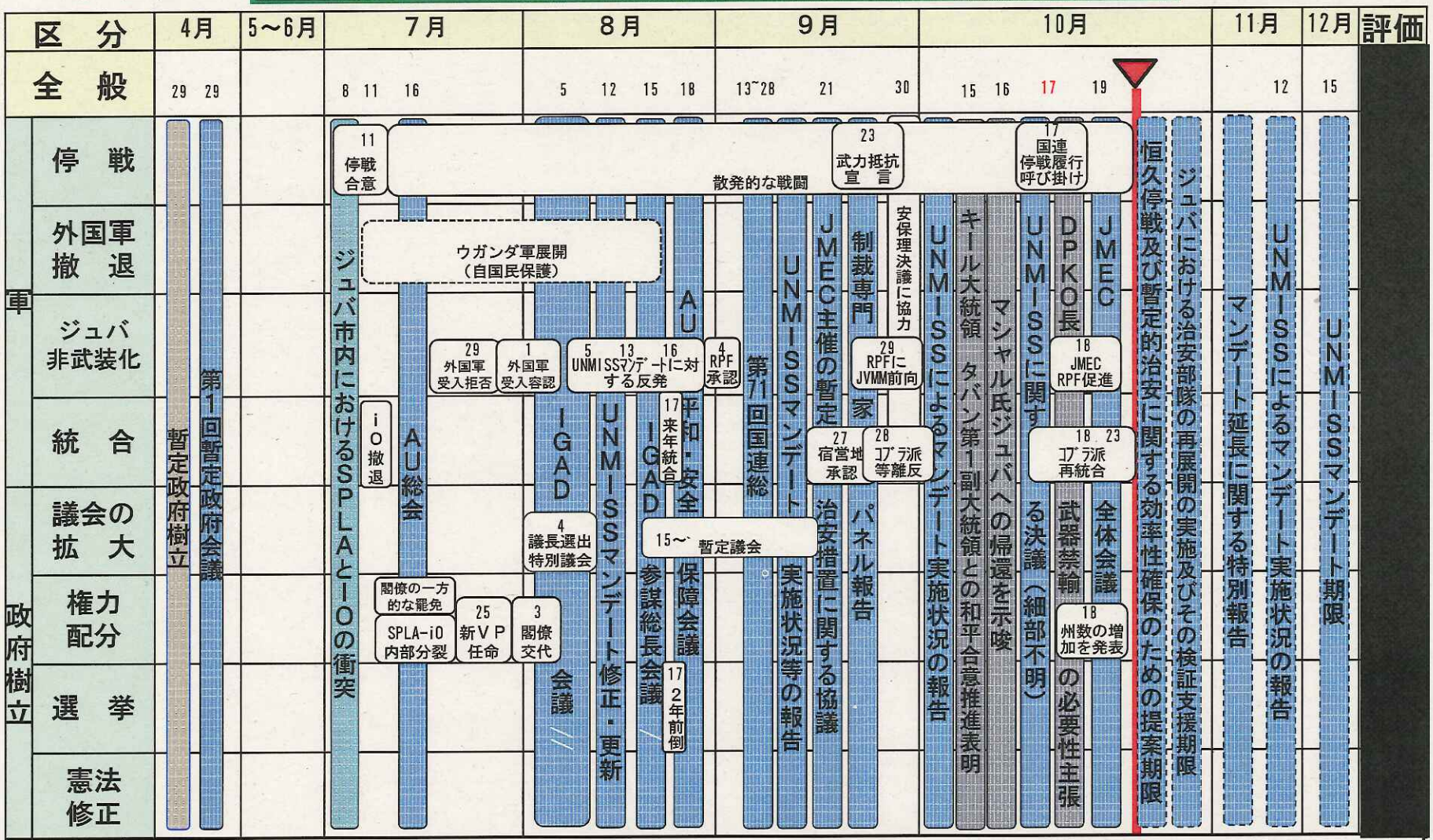
凡例　影響度：　問題なし　＜　一部制限　＜　実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評　価 Assessment	1　ジュバは期間を通じて天候が不安定である模様、局所的な降雨に注意が必要 2　ウガンダは週を通じて降水確率が高く、局所的な雨に注意

【凡　例】
赤　字：強　調

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement



評　価

和平合意については、キール政権及びタバン第１副大統領への非難を継続するマシャル氏とタバン第１副大統領との和平合意を推し進めたいキール大統領との間での対立が継続しており、タバン派ＳＰＬＡ－ｉＯのための野営地の承認を除き、進展は低調な状況

ＪＭＥＣ主催の全体会議が実施されたものの、地域保護部隊に関する協議も遅延していることから、国際社会は武器禁輸の必要性を改めて主張しており、今後の南スーダン政府の対応に注視が必要

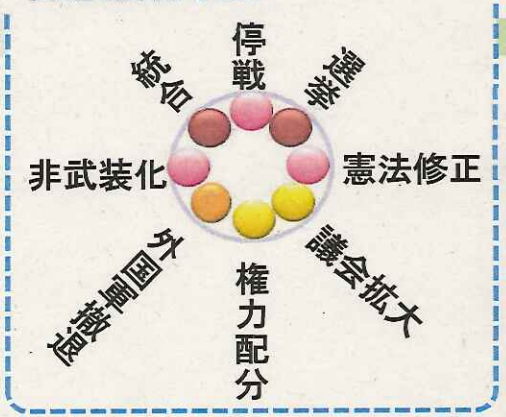
予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8 ▼2016.7 2018→

安定 ↕ 不安定

和平合意

合意履行状況



暫定政府 → ジュバ衝突事案 → 政府樹立

不安定要素

[redacted]

我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うＵＮ活動の停止
- 武力衝突・[redacted]に伴う、活動の制限
- [redacted]による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のＩＤＰの発生
- チェックポイント警戒強化（我の移動制限）
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うＵＮマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- ＳＰＬＡと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（２０１６年１０月２５日現在）



エチオピア
歩兵大隊Ⅰ
([redacted]本部ジュバ)

ネパール
歩兵大隊Ⅱ
(848名：本部ジュバ)

中国
歩兵大隊 [redacted]
(本部：ジュバ)

ルワンダ
歩兵大隊Ⅰ
[redacted]本部ジュバ)

航空部隊[redacted]
[redacted]
(本部ジュバ)

日本
施設部隊
(約350名：本部ジュバ)

バングラデシュ
施設部隊：[redacted](本部：ジュバ)
河川部隊：[redacted](本部：ジュバ)

カンボジア
憲兵隊：(本部：ジュバ)
医療部隊：(本部：ジュバ)

インド
歩兵大隊Ⅱ
[redacted]

エチオピア
歩兵大隊Ⅱ

＝増派部隊
＝後方支援部隊

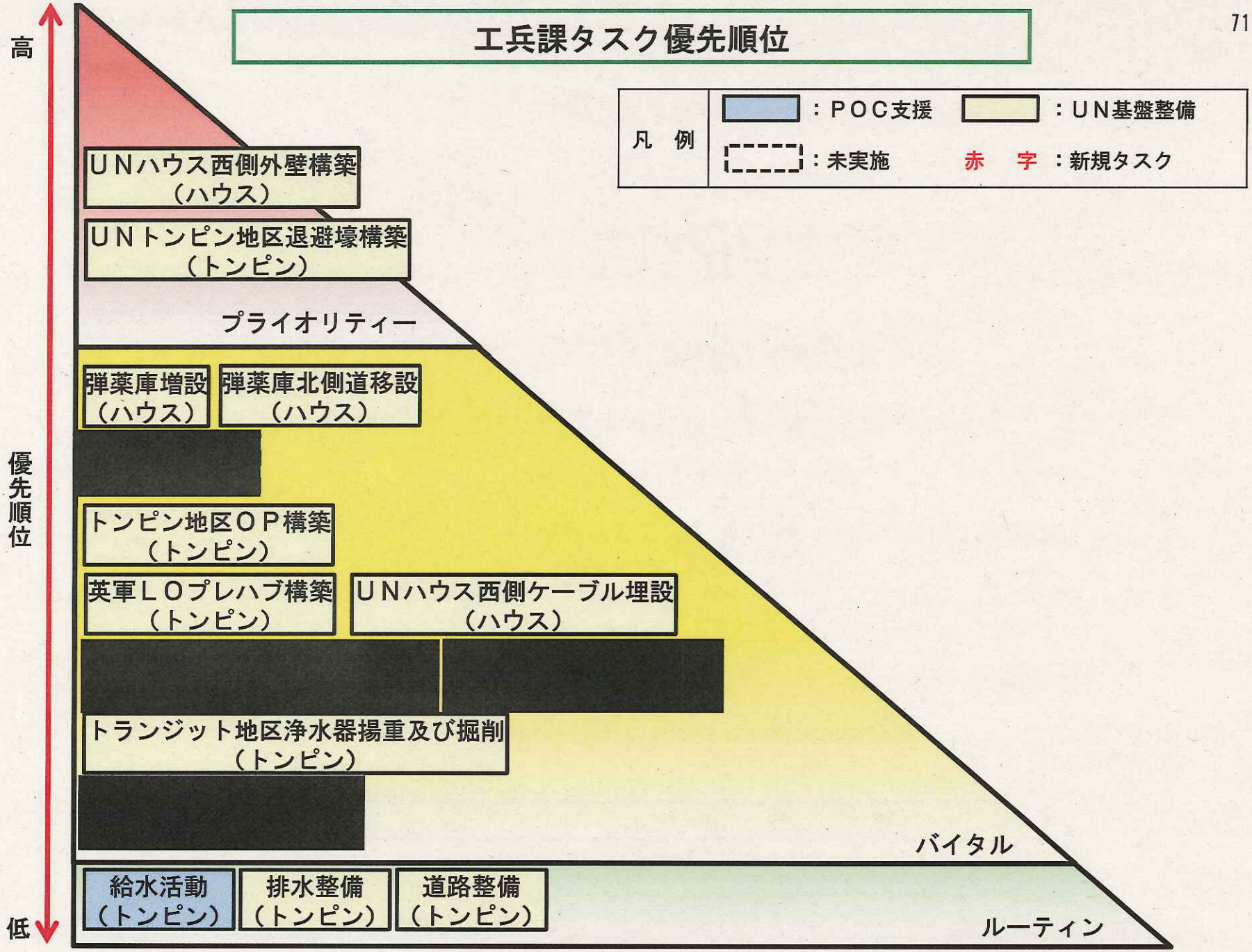
人員現況（第１０次要員）

28．10．25
１８００ｃ

場　所	部　隊		総　員	内　訳			現在員	事故	理由
				幹部(O)	准曹(WS)	陸士(P)			
ジュバ	隊本部		[redacted]						
	本部付隊	付隊本部							
		隊本部班							
		整備班							
		補給班							
		通信班							
		衛生班							
		営繕班							
	施設器材小隊								
	第１施設小隊								
	第２施設小隊								
	第３施設小隊								
	警備小隊								
	情報班								
	警護班								
	派遣警務班								
合　計			353	65	252	36	351	2	

凡例　　青字：不在者

工兵課タスク優先順位


凡　例
：POC支援
：UN基盤整備
：未実施
赤　字：新規タスク
高
優先順位
低
UNハウス西側外壁構築
（ハウス）
UNトンピン地区退避壕構築
（トンピン）
プライオリティー
弾薬庫増設
（ハウス）
弾薬庫北側道移設
（ハウス）
トンピン地区ＯＰ構築
（トンピン）
英軍ＬＯプレハブ構築
（トンピン）
UNハウス西側ケーブル埋設
（ハウス）
トランジット地区浄水器揚重及び掘削
（トンピン）
バイタル
給水活動
（トンピン）
排水整備
（トンピン）
道路整備
（トンピン）
ルーティン

新規タスク一覧

新規タスク	
タスク名	ＭＯＶＣＯＮゲート整地
意　義	ＵＮトンピン地区の活動基盤の向上
目　的	ＭＯＶＣＯＮゲートの敷地を整地して、ＵＮトンピン地区の活動基盤の向上を図る。
内　容	整地・転圧・伐採等
区分・期間	バイタル・３日間

新規タスク	
タスク名	Ｌｖ２クリニックプレハブ構築
意　義	ＵＮトンピン地区の活動基盤の向上
目　的	ＵＮトンピン地区、Ｌｖ２クリニックにおいて、３モジュールプレハブを構築して、ＵＮトンピン地区の活動基盤の向上を図る。
内　容	３モジュールプレハブの構築
区分・期間	バイタル・１５日

１０月２５日タスク等現況（１／２）

凡　例　：ＰＯＣ支援　：インフラ整備　：ＵＮ基盤整備　：国際機関等連携案件

１　実施中

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
487	ＵＮ基盤整備	1	ＵＮハウス西側外壁構築	ＵＮハウス	ミフラム構築	実施				
						計画				
492	ＵＮ基盤整備	2	ＵＮトンピン地区退避壕構築	ＵＮトンピン	退避壕構築	実施				
						計画				
470	ＵＮ基盤整備	3	弾薬庫北側道路移設	ＵＮハウス	道路移設	実施				マラム待ち
						計画				
469	ＵＮ基盤整備	4	弾薬庫増設	ＵＮハウス	ヘスコ増設外柵構築	実施				
						計画				
476	ＵＮ基盤整備	5	トンピン地区ＯＰ構築	ＵＮトンピン	ヘスコ構築屋根構築	実施				工兵課の指示待ち
						計画				
503	ＵＮ基盤整備	6	英軍ＬＯプレハブ構築	ＵＮトンピン	プレハブ構築	実施				
						計画				
						実施				
						計画				
505	ＵＮ基盤整備	7	トランジット地区浄水器揚重及び掘削	ＵＮトンピン	揚重及び掘削	実施				工兵課の指示待ち
						計画				
504	ＵＮ基盤整備	8	ＵＮハウス西側ケーブル埋設	ＵＮハウス	ケーブル埋設	実施				
						計画				
325	ＰＯＣ支援	9	給水活動	ＵＮトンピン	給　水					
471	ＵＮ基盤整備	１０	排水整備	ＵＮトンピン	排　水					
459	ＵＮ基盤整備	１１	道路整備	ＵＮトンピン	道路整備					

１０月２５日タスク等現況（２／２）

凡　例		：UN基盤整備

２　未実施

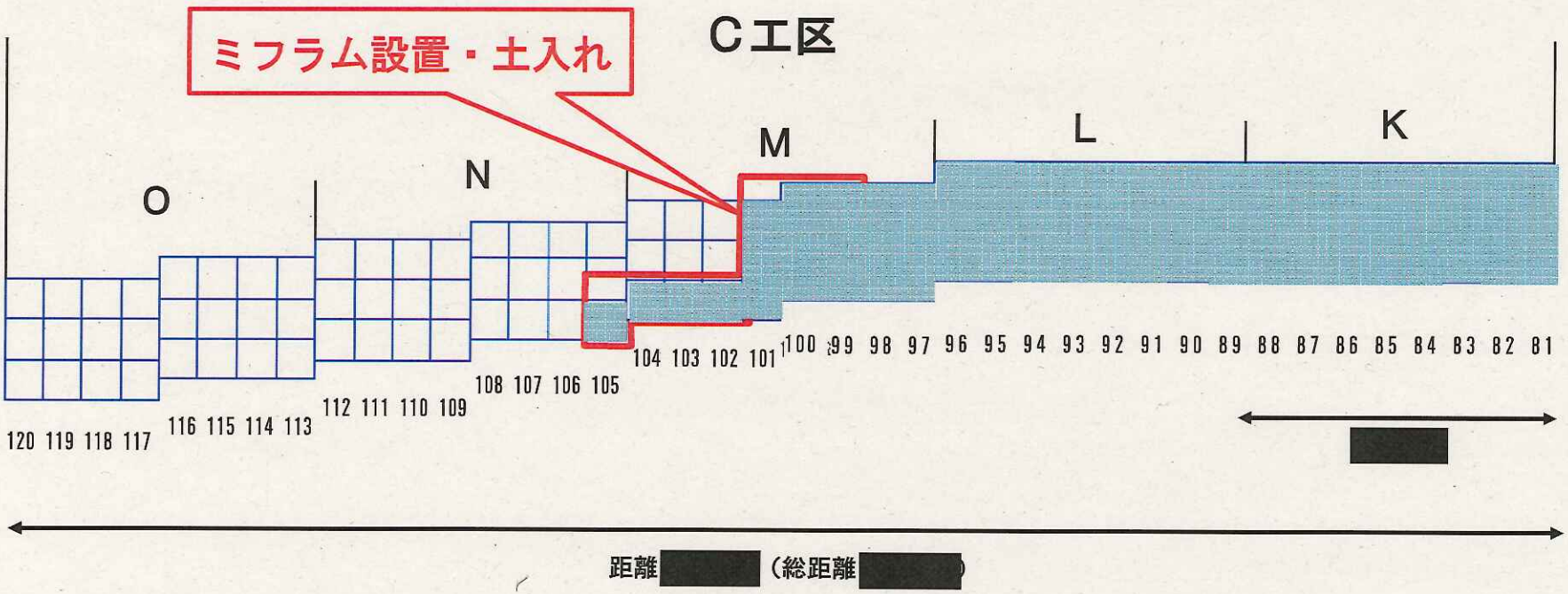
タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備　考
456	UN 基盤整備			UNトンピン						
500	UN 基盤整備			ジュバ市内						
507	UN 基盤整備			UNトンピン						
508	UN 基盤整備			UNトンピン						

タスク累計受領数（完了数）	タスク実施数（第１０次要員）		
508 （490）	プライオリティー	１４	
	バイタル	６８	
	ルーティン	３	
	計	８５	
		完　了	７０
		実施中	１１
		未実施	４

ＵＮハウス西側外壁構築全体図



ＵＮハウス西側外壁構築（１０月２５日現在）



凡例

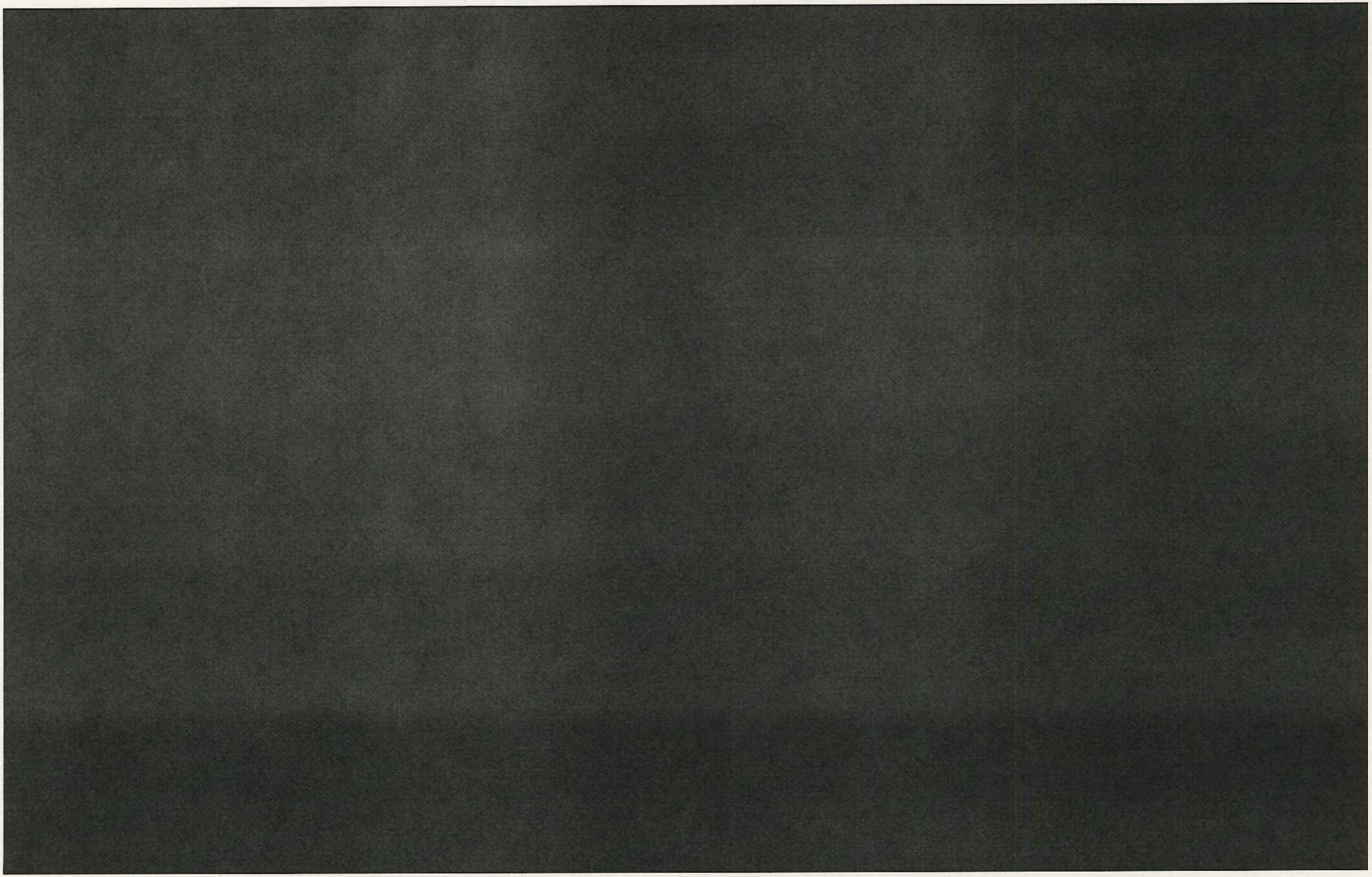
- ミフラム設置
- 空ミフラム設置箇所
- 本日作業箇所

成果

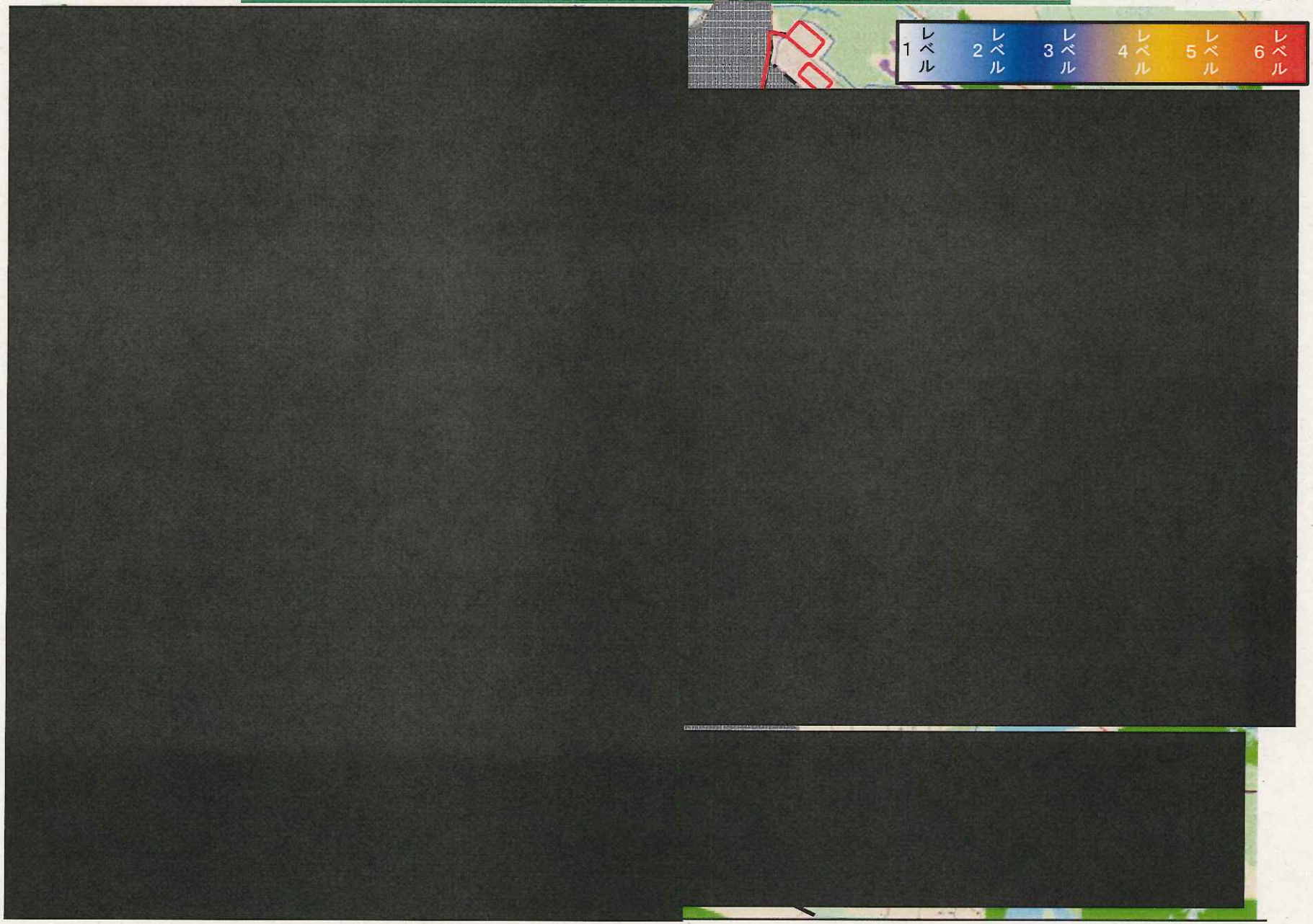
ミフラム設置 [redacted]

※　赤字：作業完了により変更部分

ＵＮハウス弾薬庫増設（１０月２５日現在）



地域脅威レベル評価（１０月２６日）



マラム運搬編成１０月２６日（水）

1　輸送編成

号　車	1	2	2	3	4	5
車　種 （車番）	[redacted]					
車　長						
Ｄｒ						
乗車 人員						
連絡 手段						
積載 物品						
人数						
総人数						

2　[redacted]以外の対処車両掌握表

号　車	1	2	3
車　種 （車　番）	[redacted]		

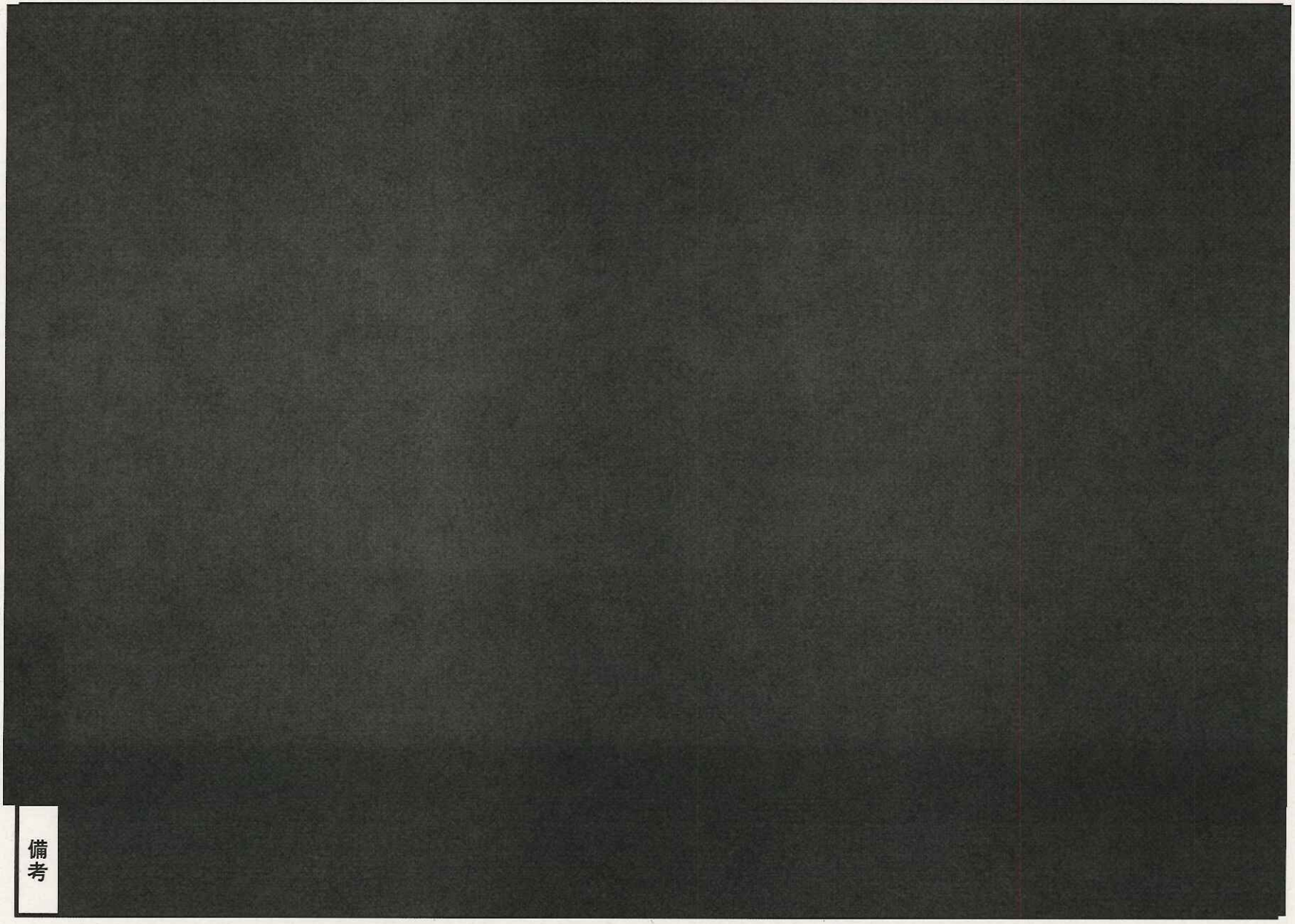
本日のマラム運搬予定



項　目	内　容
実施の概要 （時程等）	○出発準備 ・０９００[redacted] ・０９４５ 出発の梯隊準備 ○１回目運搬 ・１０００ウエストゲート出発 ・１０４０頃マラム採取場着 ・１１００頃マラム採取場発 ・１１４０トンピン着（卸下） ○２回目運搬（未定） ・１３３０ウエストゲート出発 ・１４１０マラム採取場着 ・１４４０頃マラム採取場発 ・１５２０トンピン着（卸下）
問題点 ・ 特異事象等	・現在、特記事項無 [redacted]

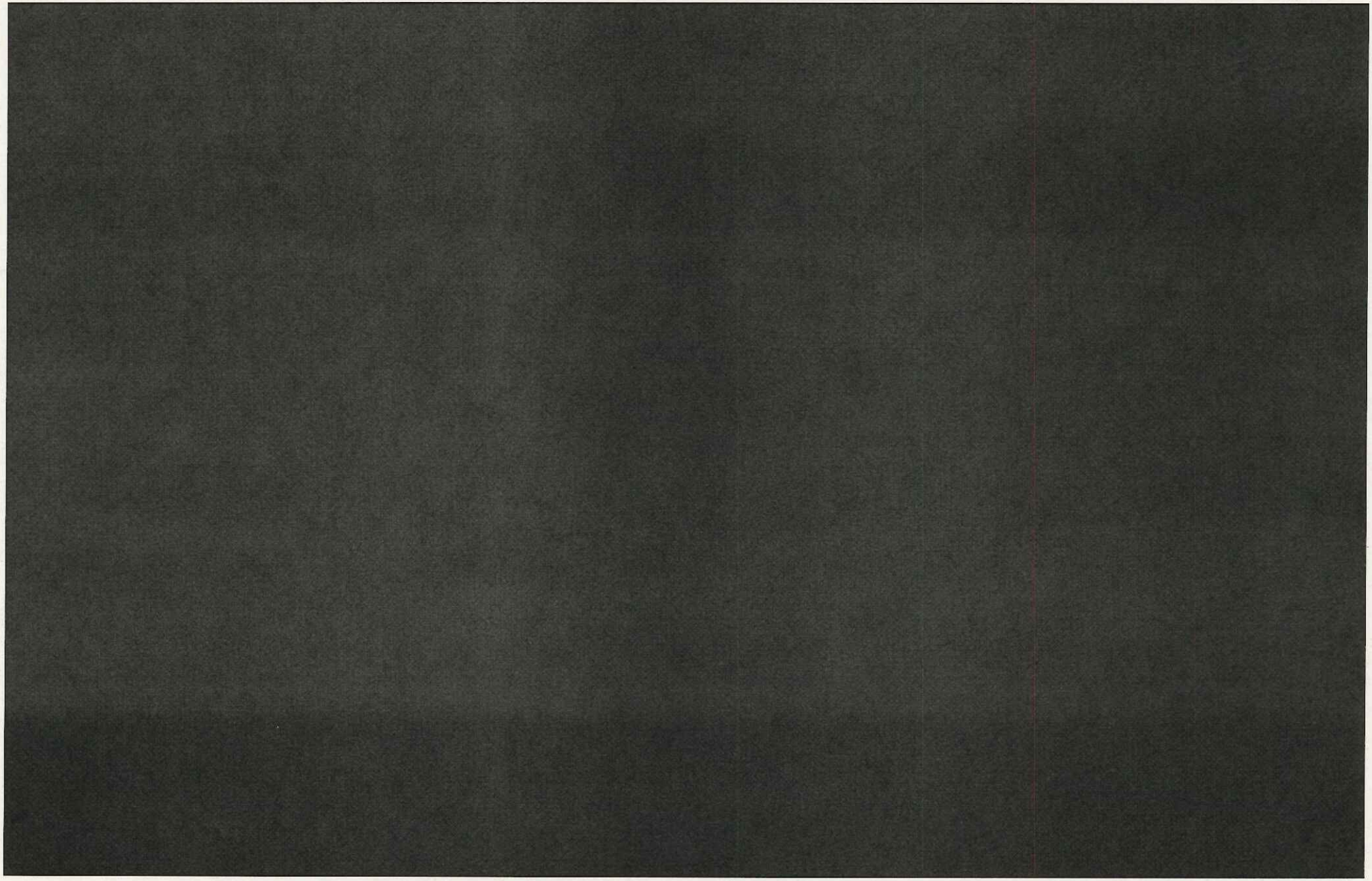
[redacted]

隊員服装・装備等基準



備考

警備の態勢（[redacted]）（１０月２５日１７００現在）



活動写真



UNタスク（UNハウス）

UNハウス地区西側外壁構築
（第２施設小隊）



UNタスク（UNハウス）

UNハウス地区弾薬庫増設
（第３施設小隊）



UNタスク（UNトンピン）

英軍ＬＯプレハブ構築
（第１施設小隊）



自隊計画（日本隊宿営地）

＃５井戸掘削